



クラシックのエントランス

Chapter
20

2006 1/22 (日)

■開場
13:30■開演
14:00Chapter
21

2006 3/19 (日)

■開場
13:30■開演
14:00

苦手な貴方にもお勧めの
クラシック音楽入門篇。
ファンはもちろん、
感動と発見。

すぐ目の前、
手が届くところにある
感動と発見。

大森智子 + 白石光隆

(ソプラノ)

(ピアノ)



音楽史上最強の楽器=肉声と、一番広い音域を持つ楽器、ピアノ。この二つの組み合わせは繊細で豊かな表現力と相まって、奥深い感動を与えてくれます。また、クラシック音楽が本来持っている「楽しさ」も、この息のぴったり合った名コンビが通常のコンサートでは見られない手法を使って、皆さんに伝えます。

大森智子+白石光隆 声楽とピアノのワークショップ

- 1月21日①19:00~
- 参加費500円（公演チケットをお持ちの方は無料）
- 事前にお電話でお申し込みください。

助成：財団法人地域創造 制作協力：社団法人日本クラシック音楽事業協会



あんみ通

(津軽三味線ユニット)

民謡と三味線は、ニッポンのクラシック。私たちの足許にある音楽を、今一度見直してみませんか。津軽三味線と民謡を、決まり切った型にこだわらず、“今”的感性で自由に表現する二人組が登場。春間近の弥生午後のひととき、若き二人の日本の文化芸能の担い手が、あなたを時空の旅へと誘います。

あんみ通 津軽三味線 ワークショップ

- 3月18日①19:00~
- 参加費500円（公演チケットをお持ちの方は無料）
- 事前にお電話でお申し込みください。

全席自由
咖啡・紅茶付

〈各回〉一般：2,000円 高校生以下：1,000円

〈2回通し〉一般：3,000円 高校生以下：1,500円

主催／財団法人黒部市国際文化センター 共催／北日本新聞社
後援／黒部市・黒部市教育委員会・黒部市社会福祉協議会・月刊 Takt

■この公演は黒部市の助成により低料金に設定しております。
■5歳未満のお子様の入場はご遠慮願います。■公演中の一時保育（無料）を希望される方は事前にご連絡ください。

●お問い合わせ・チケットの申込み

コラーレ 富山県黒部市三日市20番地 TEL.0765-57-1201 FAX.0765-57-1207
http://www.colare.jp/ e-mail:info@colare.jp

開館時間：9:30~22:30 (土曜~23:00) / 毎週水曜休館

プレイ
ガイド

(黒部市)	コラーレ	0765(57)1201
	メリシー	0765(54)2221
(魚津市)	新川文化ホール	0765(23)1123
	魚津サンプラザ	0765(24)3030
(入善町)	コスモホール	0765(72)1105
	コスモ21	0765(74)9100
(朝日町)	アスカ	0765(82)2000
(滑川市)	サン・アビリティーズ	076(475)3342
(富山市)	インフォマート[市民プラザ]	076(491)0110 [CIO駅前店] 076(444)7013
	アルプラザ富山(ファボーレ内)	076(466)1828
(高岡市)	高岡市生涯学習センター3F	0766(20)1800



クラシックのエントランス

Chapter
20

2006 1/22 (日)

■開場
13:30

■開演
14:00



大森 智子



白石 光隆

大森 智子 (ソプラノ)

OHMORI Tomoko

昭和音楽大学卒業、特別賞受賞。(財)日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第11期修了。1992年に渡仏、パリ・エコールノルマル音楽院を審査員全員一致の首席で卒業、審査員特別賞受賞。その後、パリ国立高等音楽院にてさらに研鑽を積む。在仏中、オペラはナンテール市での「カルメン」のミカエラ、パリ・オペラ座での「カルメル会修道女の対話」等に出演、またフランス国内やベルギーなどで宗教曲コンサートや各種コンサートに出演する。帰国後の1997年、昭和音大オペラに「リータ」のタイトルロールで出演、その後も「愛の妙薬」のアディーナ、「夢遊病の娘」のアミーナと出演し、2004年「ルチア」のタイトルロールでも好評を得た。2000年新国立劇場に「トスカ」の羊飼いでデビュー、2001年には藤原歌劇団に「マクベス」の幻影でデビュー、ついで「イル・カンピエッロ」のニエーゼで好演した。またコンサート歌手としても、全国各地でおしゃべりや語りを交えたコンサート活動を行うほか、透明感のある声質を生かし、ヘンデル「メサイア」、フォーレ「レクイエム」などの宗教曲ソリスト、イタリア初期バロックやフランスバロックの作品を歌い、ソロリサイタルやラモーのオペラに出演するなど活躍の場をさらに広げている。2003年11月、CD「モンテヴェルディ集～祈りの歌」を発売。

これまでに細川久美子、南條年章、エディット・セリグ、ペーテル・ゴットリーブ、牧野正人の諸氏に師事。2000年文化庁芸術インターンシップ研修員。第16回日本古楽コンクール第2位。平成14・15年度公共ホール活性化事業アーティスト。藤原歌劇団員。昭和音楽大学講師。

白石 光隆 (ピアノ)

SHIRAIISHI Mitsutaka

1989年に東京芸術大学大学院を修了後、ジュリアード音楽院へ進む。1990年ジーナバッカウアー国際奨学生コンクール入賞。1991年学内におけるコンチャルト・コンペティションで優勝し、リンカーンセンター内アリスター・ホールでジュリアード・オーケストラとラフマニノフ「ピアノ協奏曲第3番」を協演。鋭い感性とパワー溢れる行動力で、アメリカ留学中も幅広く活躍。帰国後は音楽にさらなる深みが増し、ソロ、室内楽、協奏曲等、そのステージは決して期待を裏切らないクオリティーの高いものとして定評がある。1994年第63回日本音楽コンクール声楽部門・木下賞(共演)受賞。レパートリーも広く、邦人、現代作品の分野でも評価が高く、ジャズへのアプローチも積極的に行っている。吉松隆、長生淳らの作品を入れたCD「レグルス回路」は、山野樂器1998年度アカデミー賞(現代曲部門)を受賞。またベートーヴェン作品109と、これに触発された矢代秋雄作品を主軸とした「109」、「大指揮者のピアノ曲」「作曲家ムラヴィンスキイ」ほか、いずれも好評である。毎年開催しているリサイタルも18回を数え、意欲的なプログラミングはもとより、近年は透明感ある音に奥行きと厚みが加わり、圧倒的なリズム感と、生き生きと説得力のある演奏スタイルで、回を重ねるごとにファンを増やしている。次代を担う実力派であると同時に、柔軟な思考回路を持った豊かな人間性、ピアニストで音楽人、白石光隆の宇宙は際限がない。

ピアノを金澤桂子、高良芳枝、故・伊達純、小林仁、マーティン・キャニンの各氏に、室内楽をフェリックス・ガリミア、伴奏法をジョナサン・フェルドマンの各氏に師事。現在、東京芸術大学ピアノ科非常勤講師。

2006年1月21日(土) 19:00～

大森智子+白石光隆 声楽とピアノのワークショップ

Chapter
21

2006 3/19 (日)

■開場
13:30

■開演
14:00



あんみ通 (津軽三味線ユニット)

ANMITSU

津軽三味線や民謡の全国大会等で次々と上位入賞を果たした安仲由佳と金田一公美が1999年にユニットを結成。幼い頃からはじめた津軽三味線と民謡を、決まり切った型にこだわらず、“今”的感性で自由に表現してみたいとの想いで活動している元気な二人組。親しみやすく味わい深いサウンド、そして邦楽や伝統芸能の世界の枠を越々と越えるフットワークは、若者から年配者まで世代や国境を問わず、好評を博している。

【主な公演】

アサヒビール音楽キャラバン「沖縄発～三弦三昧」では沖縄各都市、内子座、東京にて公演(2002～03年)。「小泉内閣総理大臣主催～インドネシア大統領歓迎公演晩餐会」(2003年)や、学校アクティビティにて茨城県内小学校公演なども多く行う。また、海外公演としては、国際交流基金主催事業で「中国公演～日中国交正常化30周年記念」(2002年)、「ミャンマー三味線デモンストレーション」(2003年)、「あんみ通米州ツアー(バハマ・コロンビア・アトランタ・バーミングハム)」(2005年)、他にロンドン、リスボン、韓国などに多くの公演にも参加している。

安仲 由佳 (津軽三味線)

ANNAKA Yuka

7歳のときに津軽三味線と出会う。その小柄な身体と細い指からは想像もつかない大胆な曲調と独創的な旋律は、若手女流奏者のなかで注目されている。各種津軽三味線大会でも優秀な成績を収めている。あんみ通の他、津軽三味線の良さを知ってもらうため、単独でも国内外で演奏活動を展開中。

金田一 公美 (民謡・津軽三味線)

KINDAICHI Kumi

10歳のときに三味線と出会う。12歳からピクター少年民謡会で活躍。高校卒業後4年間、民謡の本場・秋田で修行を積む。NHK邦楽民謡オーディション合格。その後、各種民謡コンクールで優勝を重ねる。さまざまな音楽的要素をパックグラウンドに、あんみ通で活躍する他、テレビ、ラジオ、舞台など、国内外で精力的に活躍中。

2006年3月18日(土) 19:00～

あんみ通 津軽三味線 ワークショップ